

市指定有形民俗文化財候補「小野田才助の大灯籠」について

文化財保護委員 野口 一雄

- 1 種別 有形民俗文化財
- 2 名称 小野田才助の大灯籠
- 3 員数 1 基
- 4 所在の場所 山形市大字山寺 4 4 5 6 (立石寺奥の院の南側)
- 5 所有者 宗教法人 立石寺 (山形市山寺 4456-1)
- 6 物件の説明

(1) 法量

全高 4 9 1 cm 最下段の幅 1 5 2 cm

(2) 制作年代と構造

明治 2 8 年 (1 8 9 5) 8 月に、山形市銅町の鋳物師である小野田才助により建立された。七層構造で、細かな形態にもかかわらず非常に肉薄で、高い技術で鋳造されている。明治時代には溶接技術がなかったため、層同士を溶接でつなぐのではなく、凸凹を組み合わせ合わせて組み立てていた。

(3) 記載人名の特徴と信仰の広がり

当時の立石寺住職である壬生優田が発願主となり、現在も塔頭寺院として存続している中性院、華蔵院、性相院、金乗院が事務総代となっている。鋳造費用や輸送の費用等については、当時の山寺村や山形市のほか、北は最上郡豊里村 (鮭川村)、南は東置賜郡赤湯村 (南陽市)、西置賜郡十王村 (白鷹町) までの広範囲にわたる人物が寄附した。

(4) 制作者 小野田才助 (1845~1915) について

小野田家の出自は不明である。初代平左衛門は、宝暦 11 年 (1761) 没である。

才助は 1846 年 (弘化 3) に、山形銅町の鋳物師 8 代小野田平左衛門の子として誕生した。なお、9 代常治 [常吉] (1898 没) は才助と同じ 8 代の子で、才助の兄となる。1 0 代は不明であり、才助が実質的な 1 0 代であると思われる。

才助は、明治 39 年 (1906)、才助は還暦を記念し銅町迎接寺 (こうしょうじ) に青銅宝篋印塔を奉納している。宝篋印塔には建設に賛同した 11 名の名前が確認される。また、亡くなる年の大正 4 年 (1915) 2 月、3 代目長兵衛義母への弔いに仏壇の鉦を贈り、暮れの 12 月 26 日に亡くなった。

(5) 小野田才助作の重要有形民俗文化財「金毘羅庶民信仰」の大灯籠及び金華山黄金山神社奉納大灯籠の比較について

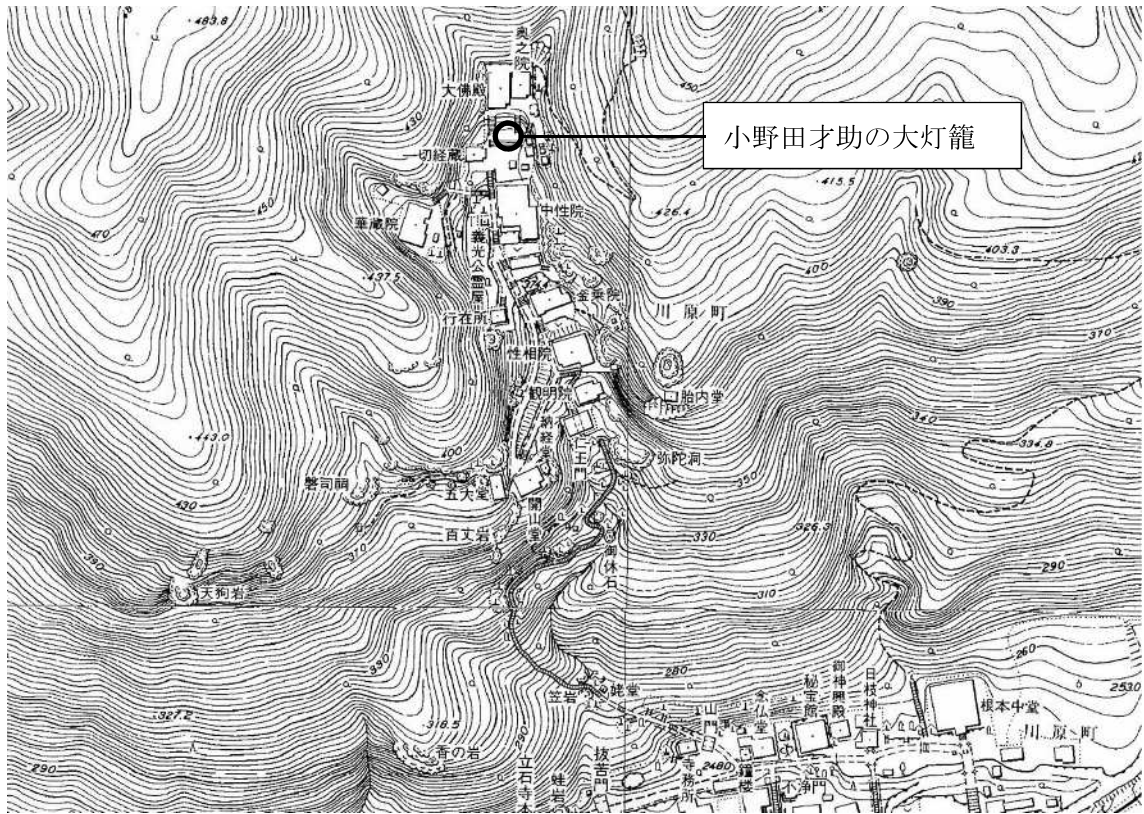
小野田才助は明治 25 年から 28 年にかけて、銅造大灯籠を全国 3 カ所の寺社に奉納している。年代順にみると、明治 25 年 (1892) と同 27 年 (1894) 宮城県金華山黄金山神社 [二基とも全高 4.89m]。明治 28 年 (1895) 3 月吉辰 香川県琴平町金刀比羅宮 [高 4.78m / 全高 6 m] [重要有形民俗文化財 1725 点の内の 1 点]、明治 28 年 (1895) 8 月

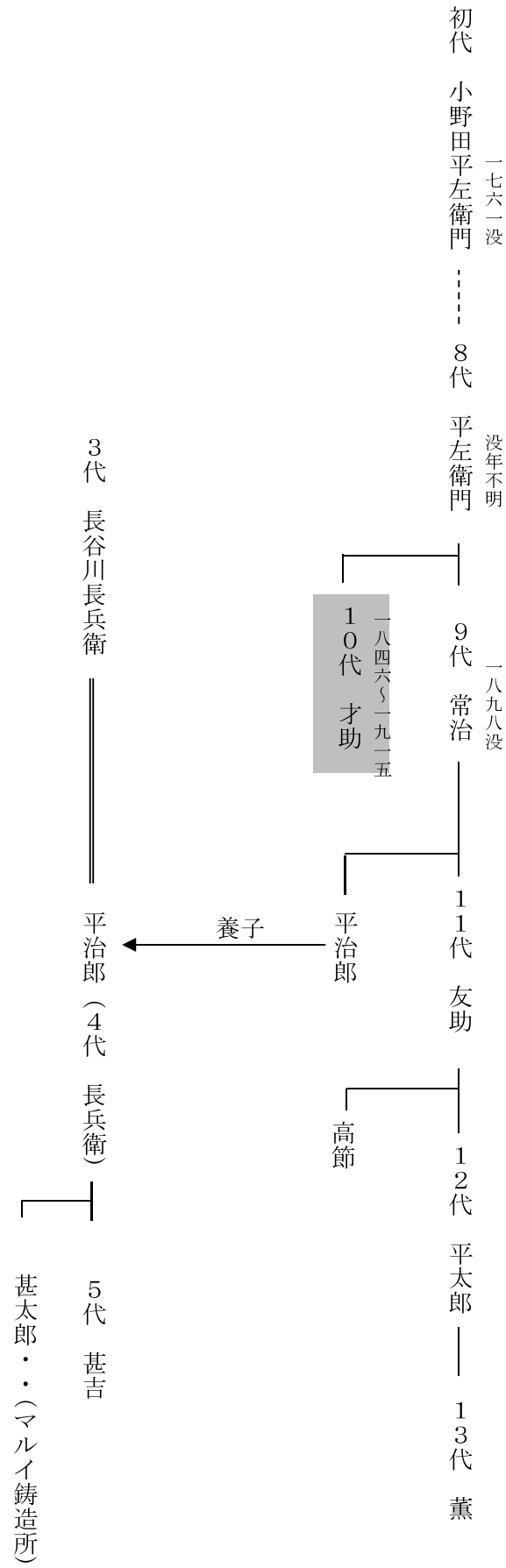
山寺立石寺奥の院である。これらの大灯籠は、才助に甥の平治郎、善蔵、養助らが協力して制作した。なお、黄金山神社大灯籠には、大正 10 年（1920）、小野田商店 長谷川甚吉（平治郎、4 代長兵衛の子）修繕と刻されている。

奥の院大灯籠に刻まれた地名は村山地方が中心である。寄付人は確認できたもので 694 人に及ぶ。山寺が 140 人、旧山形市内が 138 人、高瀬村 72 人と、3 地区で全体の半数を占める。これに立石寺に近い干布村（47 人）や立石寺領があった高揃村（53 名）が続く。解読できないところもあり総数はもっと多くなろう。高揃村には立石寺寺領があり、山寺の立谷川から取水した灌漑用水・山寺堰が流れていた。

『金毘羅庶民信仰資料 第三巻』（金刀比羅宮発行／昭和 59 年）によれば、大灯籠に刻まれた寄進者総数は山形県内だけでも 450 名を超え、琴平町や他県を含めると 500 余名が確認される。勧進元は、堀田村（現山形市）斯波兼松であるが、寄進者は村山地方の外酒田など庄内地方や県外に及ぶことから、舟運、航海安全にかかわる人も多かったことがうかがえる。

立石寺奥の院大灯籠建立は立石寺住職が発願主であり、地元山寺をはじめ山形や近隣の有力者が世話人や寄附人となっている。金刀比羅宮大灯籠とは造立の目的が違ったのだろう。金毘羅庶民信仰資料作成にかかわった印南敏秀（愛知大学教授）氏は、「山寺の奥院に奉納された大きな銅製の燈籠は霊の集まる目印として、霊にささげる燈明として最も適切な場所に建つといえる」（『こと比ら』No.37 琴平山文化会）と、また「山形市を中心とした広範な地名が見られ、そこに山寺の信仰圏と、霊の行く山としての信仰の切実さが知れるのである」と記す。江戸時代後期に記されたと考えられる「山形石ひろい」（『山形市史資料』第 64 号）に、「秋は七月になれハ、山寺立石寺殊外賑わき事そかし、山形の人々ハ、盆にはなき人の戒名、或は卒塔婆・付木なんとに書付、山寺に立たば、其亡者うかまぬ様に覚えしとか」とある。





写真：北野博司委員作成



西面



南面



東面



北面



俯瞰



小野田才助作例年表

No.	西暦	元号	銘文	所在地	種別	○現存 △修復 ×乳有 空欄不明	備考
1	1869	明治2年7月	明治二年七月再鑄 山形市小野田才助	天童市天童 佛向寺	梵鐘	×	
2	1871	明治4年	山形小野田才助	村山市大久保 願善寺	梵鐘	×	
3	1892	明治25年	山形鑄物師 小野田才助	宮城県金華山 金華山神社	灯籠	△	大正10年小野田商店長谷川甚吉修繕 記録 (3または7)
4	1892	明治25年	山形市小野田才助	山形市楡山 林提寺	梵鐘	×	
5	1892	明治25年旧4月	山形市銅町 小野田才助作	天童市高揃 願行寺	擬宝珠	○	
6	1892	明治25年6月	山形市大字銅町 永久請合小ノ田才助	場所不明	半鐘		
7	1894	明治27年	山形鑄物師 小野田才助	宮城県金華山 金華山神社	灯籠	△	平成19年長谷川雅也氏修復 (3または7)
8	1894	明治27年	山形 小野田才助	天童市田麦野 高野観音堂	梵鐘	×	
9	1894	明治27年	小野田才助	庄内町狩川字阿古屋 冷岩寺	梵鐘	×	
10	1895	明治28年	鑄造人山形市銅町三月吉辰 小野田才助	香川県琴平町 金刀比羅宮	灯籠	○	
11	1895	明治28年8月	鑄造人山形市銅町 小野田才助	山形市山寺 立石寺奥の院	灯籠	○	
12	1895	明治28年	山形市小野田才助	天童市小関 常福寺	梵鐘	×	
13	1896	明治29年旧3月15日	永久請合鑄造人 山形市銅町小野田才助	寒河江市金谷 稲荷神社	梵鐘	×	
14	1897	明治30年2月吉日	細工 銅町小野田才助	山形市北山形 龍門寺羅漢堂	鰐口	○	
15	1897	明治30年3月15日	山形市小野田才助	山形市上楡田 耕源寺	梵鐘	×	
16	1897	明治30年	山形市 小野田才助	上山市元町役場時の鐘	時鐘	×	
17	1897	明治30年	山形市小野田才助	東村山郡山辺町築沢 梅慶寺	梵鐘	×	
18	1897	明治30年	小野田才助	最上郡最上町上野 徳応寺	梵鐘	×	
19	1897	明治30年	小野田才助	飽海郡平田町田沢菅沼 龍雲寺	梵鐘	×	
20	1897	明治30年	(小野田才助)	迎接寺	梵鐘	×	
21	1900	明治33年11月	山形小野田才助	山形市相生町 浄光寺	梵鐘	×	
22	1901	明治34年8月	鑄造人 山形市銅町 小野田才助	福島県伊達郡伊達町 光台寺	梵鐘	○	
23	1901	明治34年 陰曆正月20日	山形人 小野田才助 鑄造之	西村山郡河北町谷地 宿用院	梵鐘	×	供出記録なし
24	1901	明治34年7月	鑄造者 山形市銅町 小野田才助	寒河江市中河原 長泉寺	梵鐘	×	
25	1902	明治35年	山形市銅町 鑄造者小野田才助	寒河江市落裳 観音寺	梵鐘	×	
26	1903	明治36年	山形 小野田才助	天童市窪野目 徳昌寺	梵鐘	×	
27	1903	明治36年	(小野田才助)	千葉県徳正寺	梵鐘	×	
28	1904	明治37年	小野田才助	山形県最上郡戸沢村 山神社	梵鐘	×	
29	1906	明治39年10月	小野田才助還暦記念	山形市銅町 迎接寺	宝篋印塔	○	
30	1907	明治40年	小野田才助	最上郡戸沢村古口 白山神社	梵鐘	×	
31	1908	明治41年8月	治工 山形小野田才助	最上郡戸沢村蔵岡 大善院観音堂	梵鐘	×	
32	1908	明治41年	山形市 小野田才助	山形市釈迦堂法来寺	梵鐘	×	
33	1909	明治42年4月	鑄造人 山形市銅町 小野田才助	福島県相馬郡小高町 小高神社	拝殿金具	○	
34	1909	明治42年正月	義重山 真鑿山形市 永久請合小野田才助	群馬県太田市木町 浄土宗長念寺	半鐘	○	一口 元大光院蔵
35	1909	明治42年5月	山形市小野田才助	群馬県太田市 浄土宗大光院	梵鐘	×	
36	1909	明治42年5月	山形市永久請合 小野田才助	群馬県太田市 浄土宗大光院	半鐘	×	
37	1909	明治42年5月		群馬県太田市 浄土宗大光院	擬宝珠	○	二口
38	1909	明治42年	山形市 小野田才助	西村山郡河北町谷地北口 高林寺	梵鐘	×	
39	1909	明治42年	山形小野田才助	東田川郡羽黒町 玉川寺	梵鐘	×	
40	1910	明治43年4月吉日	永久請合 山形銅町 小野田才助造之	福島県相馬郡新地村駒ヶ嶺	半鐘	○	
41	1910	明治43年 十二月二十六日	小野田才助	千葉県いすみ町	銅造正観世音菩薩像	×	「記念寫眞帖」にあり 大野才助奉納
42	1910	明治43年12月	小野田才助	千葉県いすみ町	銅造唐獅子一對	×	「記念寫眞帖」にあり 大野才助奉納
43	1910	明治43年	小野田才助	西置賜郡小国町増岡字下林 妙法寺	梵鐘	×	
44	1912	明治45年	小野田才助	山形市宮町 柏山寺	銅造菅井久子座像	×	「記念寫眞帖」にあり
45	1912	明治45年5月	小野田才助が制作の 中心カ	酒田市持地院	酒田大仏	×	「記念寫眞帖」にあり 大正3年 6月現地組立カ
46	1912	大正元年8月	山形市銅町 小野田才助	山形市緑町 西称寺	梵鐘	×	
47	1913	大正2年9月9日	山形市銅町 鑄造人小野田才助	天童市仲町喜太郎稲荷	根巻	○	
48	1915	大正4年	山形小野田才助	西村山郡河北町谷地 八幡神社	梵鐘		
49	1916	大正5年	山形市小野田才助	尾花沢市袖崎村 自由院	梵鐘		
50	1916	大正5年	山形市小野田才助	上山市楡下 浄休寺	梵鐘	×	
51	1916	大正5年	山形市小野田才助	山形市銅町長谷川長兵衛家	小磬 (きん)	○	
52			小野田才助	福島県会津若松市栄町 興徳寺 (蒲生氏郷墓)	虚空蔵尊撫牛	×	
53			小野田才助	天童市小路 建勲神社	鳥居 根巻	○	
54			小野田才助	天童市清池 願正坊廟木堂	仏飯器	○	

供出を免れたのは、専称寺、光明寺、光輝寺、円応寺、龍門寺、長源寺 (『山形市政六十年誌』)

参考資料：小形利吉著『幻の梵鐘』、高橋久敬 (天明鑄物師研究家) 氏収集資料、マルイ長谷川鑄造所蔵「記念寫眞帖」他